

## 第31回国立国会図書館関西館資料展示を開催します 「左手をご覧ください！－左利きというまなざしで、 見えてくる風景－」(9/21-10/17)

朝起きて寝室のドアノブを時計回りに回し、出かける前に腕時計を左腕につけ、自販機にお金を入れ、駅の改札を通り…。このありふれた日常は、左利きの人と右利きの人では見える風景が違います。

第31回関西館資料展示では、左利きに関する本や雑誌など約70点を、歴史、科学、社会等の切り口から紹介します。

左利きという身近な個性について、そして利き手に関わらず誰もが暮らしやすい社会について、この機会に考えてみませんか？



### ○概要

開催期間：令和5年9月21日(木)～10月17日(火) (日曜・祝日は休館)

開催時間：午前9時30分～午後6時

展示資料数：約70点

会場：国立国会図書館関西館 閲覧室(地下1階)

(〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3)

入場：無料・年齢制限なし(18歳未満の方は所定の手続の上でご覧いただけます。)

問合せ先：国立国会図書館関西館 資料案内(電話：0774-98-1341)

URL：[https://www.ndl.go.jp/jp/event/exhibitions/kansai\\_202309.html](https://www.ndl.go.jp/jp/event/exhibitions/kansai_202309.html)

関連講演会：「けいはんな学研都市7大学連携 市民公開講座2023」の1講座として、9月22日(金)に、関西福祉科学大学教育学部教育学科長・教授 山下光氏による講演会「左利きの科学と社会～多様性と共生について考える～」を開催します。

詳細は、当館ウェブサイト内の講演会紹介ページ([https://www.ndl.go.jp/jp/event/events/kansai\\_20230922.html](https://www.ndl.go.jp/jp/event/events/kansai_20230922.html))をご覧ください。

○展示資料例（【 】は当館請求記号）

『野球術：最新研究』和田六灘子. 博文館, 1917 【363-261】

日本で野球が今ほど普及していない大正6年に刊行された、野球の技術に関する研究書。左利きの選手については、例えば、今は野球の定説としてよく聞かすが、左打者は右打者より一塁に近く、また打った姿勢が一塁に向くので、一塁に早く到達すると説明している。



『ひだりきき』無声居士 著. 春陽堂, 明 26.5 【特 9-976】

明治時代に出版された「探偵小説」叢書の1冊。匿名で執筆されており、著者はわかっていない。被害者の傷跡の位置や凶器についた指痕から、犯人は左利きということが分かり、犯人は捕縛される。



『神々の左手：世界を変えた左利きたちの歴史』エド・ライト 著, ricorico [訳]. スタジオタッククリエイティブ, 2009.6 【GK11-J64】

レオナルド・ダ・ヴィンチ、ナポレオン・ボナパルト、ベーブ・ルース等々、世の中への影響力が絶大であった左利きの人物について、それぞれの生い立ち、人格、業績等を解説している。

○撮影について

開催期間中（土曜日、日曜日、祝日を除く。）は午前9時から午後7時まで撮影が可能です。ただし、来場者がいる午前9時30分から午後6時までの間は、来場者の撮影、周囲に聞こえるような音声を伴う撮影、大人数による撮影等のご遠慮いただく場合があります。なお、照明器具を使用する撮影はできません。撮影をご希望の場合は、来館前にご連絡ください。

○資料展示 問合せ先

展示内容について：国立国会図書館関西館 資料展示班 酒井（電話：0774-98-1377）

取材申込み：国立国会図書館関西館 総務課総務係（電話：0774-98-1225）

（※）2ページ目に掲載した画像は当展示会の広報の目的でお渡しすることができます。

画像掲載の際には書誌情報及び当館所蔵であることを明記してください。